



平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第76期第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におきましては、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」が、胃がんや食道がん、尿路上皮がんを中心に引き続き使用拡大するとともに、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」、なども堅調に推移しました。また、ロイヤルティ収入も引き続き増加し、中間期としては6期連続の増収増益を達成いたしました。

当社は医療ニーズの高いがん、免疫、神経、スペシャリティの四つを重点領域に定めて、画期的な新薬の創製に取り組んでおります。積極的な研究開発投資のもと、トップクラスのアカデミアやベンチャー企業とのオープンイノベーションを強力に推進しているほか、欧米での自社製品の販売体制の構築も進め、一人でも多くの患者さんに新たな治療の選択肢をお届けするべく、これからも挑戦を続けていく所存です。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 相良 暁

営業の概況・予想（連結IFRS）／利益還元方針

財務ハイライト（連結）

売上収益

2,587 億円

前年同期比 **19.4%増**

営業利益

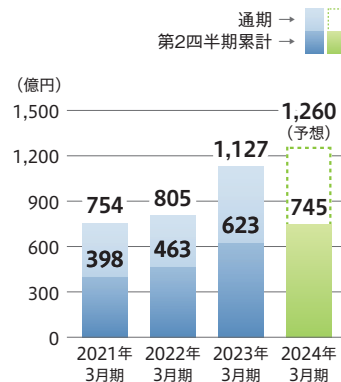
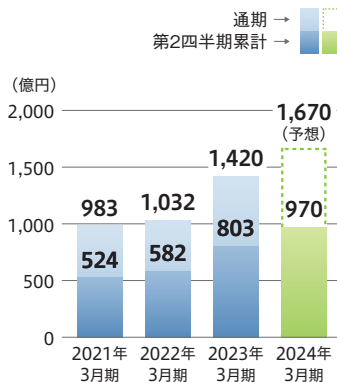
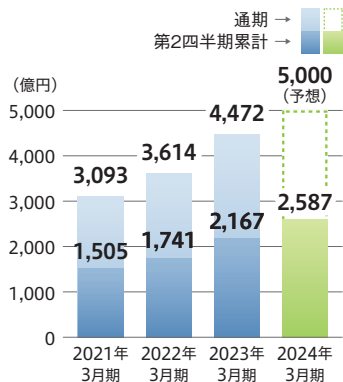
970 億円

前年同期比 **20.9%増**

親会社の所有者に
帰属する四半期利益

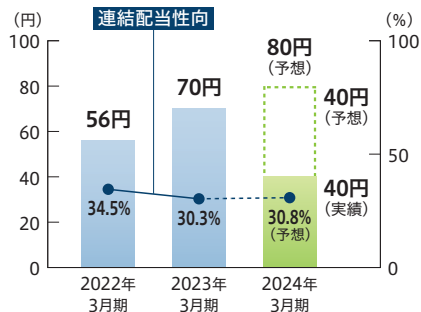
745 億円

前年同期比 **19.5%増**



中間配当金について

〈年間配当実績と当期予想〉



株主の皆さまへの当期の中間配当金につきましては、1株につき40円とさせていただきます。なお、当期の期末配当金は1株40円とし、年間にお支払いする配当金は1株80円を予定しております。

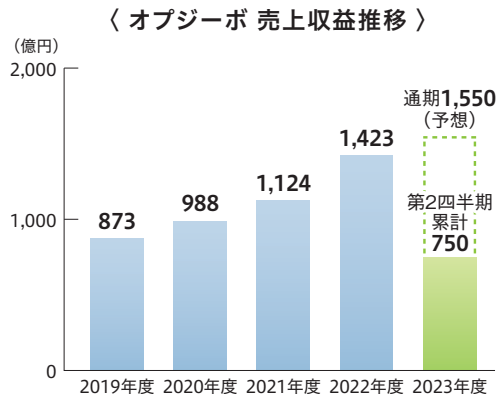
▶ 業績の詳細は、当社のHPをご覧ください。 <https://www.ono-pharma.com/ja/ir/library>



オプジーボの売上が引き続き拡大

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、胃がん、食道がん、尿路上皮がん領域での使用が拡大し、当期の売上収益は前年同期比7.3%増の750億円となりました。通期でもさらなる成長を見込んでおります。

オプジーボは日本では、当社が2014年9月に「根治切除不能な悪性黒色腫」の治療薬として発売しました。現在、11がん腫で承認を得ていますが、さらなる適応がん腫の拡大を目指した開発に取り組んでいます。



国内で承認されたオプジーボの効果・効能 (2023年9月時点)

悪性黒色腫	切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫
<ul style="list-style-type: none"> ● 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ● 非小細胞肺癌における術前補助療法 	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸がん
根治切除不能又は転移性の腎細胞がん	<ul style="list-style-type: none"> ● 根治切除不能な進行・再発の食道がん ● 食道がんにおける術後補助療法
再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫	
再発又は遠隔転移を有する頭頸部がん	原発不明がん
治癒切除不能な進行・再発の胃がん	尿路上皮がんにおける術後補助療法



フォシーガなどが堅調に推移

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は359億円（前年同期比36.1%増）となりました。

その他の主要製品においても、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」は50億円（同22.0%増）、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」は31億円（同27.9%増）となるなど、堅調に伸長しました。

主な製品の売上収益と予想

製品名	当第2四半期 売上収益(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2022年度 売上収益(実績) (億円)	2023年度 売上収益(予想) (億円)	対前期 増減率
フォシーガ錠	359	36.1%	565	700	23.8%
オレンシア皮下注	130	4.5%	248	255	3.0%
グラクティブ錠	108	△7.5%	225	210	△6.7%
ベレキシブル錠	50	22.0%	85	95	11.3%
カイクロリス点滴静注用	46	3.9%	87	85	△2.3%
パーサビブ静注透析用	41	△2.9%	84	80	△4.8%
オンジェンティス錠	31	27.9%	50	65	30.5%
オノアクト点滴静注用	21	△3.5%	45	45	0.4%
ピラフトビカプセル	17	5.5%	32	40	23.2%
メクトビ錠	13	4.1%	25	30	18.1%

開発品の主な進捗状況

開発品の主な進捗状況

(2023年10月25日現在)

★「オブジーボ」との併用試験

※がん領域の開発品において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しています。

■ がん領域の主な進捗状況

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ点滴静注	注射	悪性中皮腫(悪性胸膜中皮腫を除く)	■■■■■				日本
		上皮系皮膚悪性腫瘍	■■■■■				日本
		肝細胞がん	■■■■■				日本、韓国
		卵巣がん	■■■■■				日本、韓国、台湾
		膀胱がん	■■■■■				日本、韓国、台湾
ONO-7121・オブジーボ配合剤	注射	結腸・直腸がん	■■■■■				日本、韓国、台湾
ピラフトピカプセル	カプセル	甲状腺がん	■■■■■				日本
メクトピ錠	錠	甲状腺がん	■■■■■				日本
ヤーボイ点滴静注液★	注射	胃がん	■■■■■				日本、韓国、台湾
		尿路上皮がん	■■■■■				日本、韓国、台湾
		肝細胞がん	■■■■■				日本、韓国
ONO-7913/Magrolimab	注射	急性骨髄性白血病	■■■■■				韓国、台湾
		膵がん★	■■				日本
		結腸・直腸がん★	■■				日本

開発品の主な進捗状況

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-4482★／Relatlimab	注射	悪性黒色腫	■	■			日本
		肝細胞がん	■	■			日本
ONO-7226★	注射	固形がん	■				日本
ONO-7475／Tamnorzatinib	錠	膀胱がん★	■				日本
		EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺がん	■				日本
ONO-4578	錠	胃がん★	■	■			日本、韓国、台湾
		結腸・直腸がん★	■				日本
		膀胱がん★	■				日本
		非小細胞肺がん★	■				日本
		ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん	■				日本
ONO-7119★／Atamparib	錠	固形がん	■				日本
ONO-7122★	注射	固形がん	■				日本
ONO-7914★	注射	固形がん	■				日本
ONO-4059	錠	中枢神経系原発リンパ腫	■	■			米国

創薬提携

■ Twist社と創薬提携を締結

2023年8月、当社は米国Twist社と抗体医薬品の創製について提携する契約を結びました。Twist社は、革新的な構造を持った合成抗体のライブラリ(医薬品候補の集まり)を保有しています。当社は今後、選定した標的に対して、このライブラリから適した抗体を選び、それをもとに抗体医薬品づくりに挑みます。

■ Adimab社と創薬提携を締結

2023年9月、当社は米国Adimab社とがん領域での抗体医薬品の創製について提携する契約を結びました。

Adimab社は二重特異性抗体^{*}の作製技術で強みを持っており、独自のライブラリから、当社が指定する標的に対して抗体を探し出し、医薬品候補の創製に取り組みます。当社は本提携から創製される抗体医薬品候補を全世界で独占的に開発・製造・商業化する権利を獲得するオプション権を持ちます。

※二重特異性抗体:通常の抗体は、一つの抗原(抗体が結合する物質)に結合しますが、二重特異性抗体は一つの抗体が二つの抗原に結合するように改変した抗体で、通常の抗体よりも高い有効性を示す医薬品になることが期待されます。

企業

■ 当社グループで生成AIの利活用を開始

このほど、国内外のグループ会社を含む全社員を対象として、生成AI(人工知能)の利用を開始しました。高度な情報セキュリティを確保した対話型のAIで、資料の作成や要約、アイデアの壁打ち、問い合わせ対応など、さまざまな用途で広く活用しています。また、研究・開発・営業などにおいて、社内データや既存システムとの連携による、高度な活用の検討も進めています。

■ アストラゼネカ社との訴訟が全面的に和解

2023年7月、当社およびブリストル・マイヤーズ・スクイブ社が権利を有する抗PD-L1抗体/抗CTLA-4抗体関連特許に関するアストラゼネカ社およびその関連会社との特許訴訟等の紛争について、全世界で全面的に和解する契約を締結しました。




和解により、当社は総額約140百万米ドルを受け取ることになり、2024年3月期第2四半期に和解に伴う一時金収入として170億円を計上しました。

サステナビリティ

■ ESG投資指数の構成銘柄に継続選定

GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が、ESG(Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンス)投資に用いる五つの投資指数の構成銘柄に2023年度も継続選定されました。今年度からはGPIFが採用した「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt指数(GenDi J)」の構成銘柄にも選定されたことにより、当社はGPIFが採用する六つの国内インデックスすべてに選定されたことになります。

【当社が構成銘柄として選定されたESG投資指数】

6年連続	<ul style="list-style-type: none"> ・FTSE Blossom Japan Index ・S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数 	 FTSE Blossom Japan Index	 S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数
5年連続	<ul style="list-style-type: none"> ・MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数 	2023 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数	
2年連続	<ul style="list-style-type: none"> ・MSCI 日本株 女性活躍指数(WIN) ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 	2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数(WIN)	 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
新規	<ul style="list-style-type: none"> ・Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt指数(GenDi J) 		

免責事項:

小野薬品工業株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、本件お知らせにおける本投資法人によるMSCI社のロゴ・商標・サービスマーク並びにインデックス名の使用は、MSCI社及びその関係会社による小野薬品工業株式会社へのスポンサーシップ、宣伝、販売促進を企図するものではありません。MSCI指数はMSCI社に独占権があり、MSCI社及びMSCI指数及びそのロゴは、MSCI社及びその関連会社の商標・サービスマークです。

会社の概要 (2023年9月30日現在)

会社概要

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358百万円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	3,843名(連結) 3,433名(単体)
株式数	発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 517,425,200株 (自己株式38,869,029株を含む)

主要な事業所

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号〕
事業所	札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、 大阪、高松、広島、福岡ほか全国主要都市
研究所等	水無瀬研究所(大阪府)、筑波研究所(茨城県)、 城東製品開発センター(大阪市)
工場	フジヤマ工場(静岡県)、山口工場(山口県)
海外子会社	オノ・ファーマ・ユーエスエー・インク(米国マサチューセッツ州) オノ・ファーマ・ユーケー・リミテッド(英国ロンドン) 韓国小野薬品工業株式会社(韓国ソウル) 台湾小野薬品工業股份有限公司(台湾台北)

役員

代表取締役 取締役社長	相良 暁
取締役 専務執行役員	辻中 聡浩
取締役 専務執行役員	滝野 十一
取締役 常務執行役員	出光 清昭
社外取締役	野村 雅男
社外取締役	奥野 明子
社外取締役	長榮 周作
常勤監査役	西村 勝義
常勤監査役	谷坂 裕信
社外監査役	菱山 泰男
社外監査役	田辺 彰子



本社ビル(大阪市中央区)

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日

公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告を掲載するホームページのアドレス
<https://www.ono-pharma.com/ja>

上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード4528)

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
および特別口座 三井住友信託銀行株式会社
の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
および 〒168-0063
各種お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金領収証」で配当金を受領されている株主様へ

口座振込による配当金のお受け取り方法のご案内

配当金は、銀行等の口座振込(下記の3種類よりご選択)によって、安全かつ確実にお受け取りいただくことができます。「配当金領収証」で配当金をお受け取りの株主様は、配当金のお支払開始日から満3年を経過いたしますとお受け取りができなくなりますので、口座振込のご利用をぜひご検討ください。

口座振込による受領方法 (右記の3種類からお選びください)	株式数比例配分方式	登録配当金受領口座方式	個別銘柄指定方式
	ご所有のすべての株式等の配当金を証券会社の口座を通して受領する方式です。	ご所有のすべての株式等の配当金をご指定の1つの銀行等の預金口座で受領する方式です。	ご所有の銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座で配当金を受領する方式です。

※少額投資非課税口座(NISA口座)を開設し、配当金について非課税の適用を受けるためには、株式数比例配分方式をご選択いただく必要があります。

お問合せ先

証券会社の口座で株式を保有されている株主様 ▶ お取引の証券会社

それ以外の株主様 ▶ 三井住友信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00、土日休日を除く)

「コーポレートレポート2023」発行

2023年9月に、当社の統合報告書「コーポレートレポート2023」を発行しました。

今回、新たに当社グループの重要な経営資源を紹介した「事業と強み」ページや、

全マテリアリティの指標およびその進捗を一望できる

「マテリアリティ・KPI一覧」ページを追加しました。

また、社外取締役と社外監査役が当社の経営について語り合った座談会や、

経営課題として重視している「人的資本の拡充」についての特集なども掲載しています。

ぜひご覧ください。



■ トップメッセージ



■ 事業と強み

コーポレートレポート
オンライン版



ホームページアドレス

<https://www.ono-pharma.com/ja>

